

令和5年度 スクールカウンセラーの利用状況報告について

(1) 利用者延人数

利用者	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	保護者	教員	その他	合計	前年同期
小学校	870	1,051	1,669	1,450	1,078	761	2,351	6,087	172	15,489	14,757
中学校	533	661	335				980	2,530	29	5,068	5,101
										20,557	19,858

(2) 内容別延件数

相談内容	利用者 人数	小学校						中学校					
		児童	保護者	教員	その他	合計	前年同期	生徒	保護者	教員	その他	合計	前年同期
		回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数
①不登校		719	818	1,098	23	2,658	2,169	611	496	917	1	2,025	1,986
②いじめ		42	23	39	2	106	93	7	3	18	0	28	8
③友人問題		1,007	79	485	0	1,571	1,641	134	5	88	0	227	211
④問題行動等	暴力行為	21	8	21	0	50	99	12	1	14	0	27	36
	非行・不良行為	29	9	64	1	103	104	7	7	29	1	44	8
⑤情緒不安定		885	216	793	8	1,902	1,642	215	89	379	2	685	564
⑥性格・行動		1,191	482	1,601	9	3,283	3,429	77	101	251	0	429	350
⑦生活習慣		60	23	56	0	139	214	7	16	22	0	45	36
⑧身体・健康		37	31	73	2	143	134	23	31	59	1	114	153
⑨学習・進学		161	137	310	7	615	571	79	87	150	0	316	310
⑩家庭・家族		390	74	388	18	870	660	89	27	147	6	269	194
⑪虐待		23	8	66	12	109	59	6	0	9	0	15	9
⑫対教師		134	26	67	0	227	183	10	8	26	0	44	31
⑬部活等		1	1	2	0	4	4	12	0	6	0	18	26
⑭自己理解		36	11	11	0	58	64	72	1	11	0	84	135
⑮子育て		2	128	34	0	164	161	0	39	12	0	51	52
⑯発達障害		429	216	566	8	1,219	1,010	69	60	154	2	285	394
⑰カウンセリングの方法		11	8	54	3	76	98	5	1	45	1	52	19
⑱学外との連携		28	3	37	23	91	110	1	2	7	2	12	19
⑲話相手		1,233	1	30	3	1,267	1,463	84	0	6	0	90	176
⑳貧困の問題		48	0	1	0	49	9	3	0	0	0	3	0
㉑ヤングケアラー		2	0	1	0	3	1	0	1	2	0	3	6
㉒その他		390	49	290	53	782	839	6	5	178	13	202	378
合計		6,879	2,351	6,087	172	15,489	14,757	1,529	980	2,530	29	5,068	5,101

【主な特徴】

○利用者延人数は、令和4年度と比べて、小学校では約700人増加、中学校ではほぼ横ばいとなっている。

○内容別には、小学校では⑥性格・行動が最も多く、次に①不登校、⑤情緒不安定、③友人問題の順に多く、令和4年度と同様の傾向となっているが、不登校の相談が増加している。

中学校では①不登校が最も多く、次に⑤情緒不安定、⑥性格・行動、⑨学習・進学の順に多く、令和4年度と概ね同様の傾向となっている。